おふくろ

原民喜

青空文庫

わたしはからくりめがねの夢になってしまふたのです
紺の筒袖と色黒ばばさんと
暗いカンテラと
お寺の甃石と
緋の着物に紅繻子の帯を締めた子娘と
さうして五厘の笛と
唐獅子と
わたしはお母さんに抱かれて居たいのです
風船玉が逃げぬやうにぢっと握ってゐたいのです
（銭村五郎）

前吉は家へ帰って来ると、老眼鏡を懸けて新聞を読んでゐる、おふくろの肩を小突いた。と、力が余って、おふくろは横に倒れさうになった。
「何を無茶するか。」おふくろは一寸怒って前吉の腕を抓った。と、彼は暫く痛いのを我慢してゐたが、急に腕をはづして逆におふくろの腕を抓った。
「これ、痛いよ、お母さんを何と思ふのだ。」と、おふくろは前吉の脛をビシャビシャ叩いて

悲鳴をあげる。

「俺だっていてえや。」と前吉はおふくろの頬ぺたに平手打ちを加へる。

到頭、おふくろは眼鏡をはづして興奮し出した。

「お母さんにむかって何をするのさ、私は心臓が弱いからあんまり怒らすと死ぬるよ。」

おふくろは形相を変へて眼には涙を滲ませる。

「ババア」

「婆がどうしましたか、こののら息子め、身体ばっかし大きななりして、まるで餓鬼ぢゃないか。」

「ええ、クソババア。」

「おのれ、まだよさぬか。」

それから暫くは小競合ひが続いてゐたが、不意と前吉は黙って行ってしまふ。

表に出て近所で煙草を買ふと、四五町さきの喫茶店へ入って、彼は無表情な顔で煙草に火をつける。おふくろはほんとに慍(おこ)ったのかしら……と彼は少しづつ気になる。しかし家へ帰ればまた喧嘩しさうなのですぐには帰れない。前吉はソーダ水をストローで攪(かきま)ぜて、ぢっと考へ込む。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日初版発行
入力：蒋龍
校正：伊藤時也
2013年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

おふくろ

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/